

16

在厦門領事館

一

戸
〇

〇

一

M-0389

0402

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人文 會計

寫送先

昭和7 一〇〇一六 暗

廈門 廿三日後發
本省 四月廿三日後着

芳澤外務大臣

三浦領事

第一七〇號(至急)

當地ノ情勢ハ屢次電報ノ如ク當館トシテハ最悪ノ場合ヲ豫想シ之カ
對策ヲ講スルノ外無ク又事態ハ刻々惡化シ行ク情勢ナルニ付二十二
日ヨリ館員及警察署員ノ總動員ヲ行ヒツツアル處現在ノ署員ヲ以テ
テハ到底此際ニ善處スルコト困難ニ付此際特別ノ御詮議ヲ以テ巡
査二十名至急増員方御取計相成度ク尙當地ニ於テハ廈門語(臺灣語
ヲ解スルモノニ非ザレハ充分能率ヲ發揮シ能ハサルニ付右人員ノ全
部又ハ大部分ハ臺灣總督府ヨリ出向セシメラルルコトト致シタキニ

外務省

付テハ至急總督府側ニ交渉方御取計相成度ク尙細目ニ亘リテハ當館
ヨリ直接同府警務局ニ交渉スルコトト致シタク何分ノ儀至急御回訓
ヲ請フ

外務省

M-0389

秘

發電昭和七年四月二十八日

臺灣警察官ヲ廈門へ應援出張方ノ件

岩崎

南臺灣總督

芳澤外務大臣

暗第一六號 至急

廈門ノ情勢漸次悪化シツツアル状態ニ關シテハ既ニ御了知ノ通りナル處萬一ノ場合ニ於ケル居留民保護ノ爲此際可成臺灣語殊ニ廈門語ニ通スル貴府巡查一〇名ヲ同地領事館ニ應援トシテ差當リ一ヶ月ノ豫定(旅費ハ當方負擔)ヲ以テ至急御派遣方特ニ御用意ヲ得度尙右御承諾ノ上ハ實行上ノ細目ニ付テハ急ヲ要スル次第ニモ有之直接三浦領事ト御協議相成様致度何分ノ儀至急御回電相煩ハシ度シ
三浦領事へ轉電セリ

外務省

7.2

は()

寫

秘

發電昭和七年四月二十八日

臺灣警察官ヲ應援出張セシムル件

岩崎

在廈門 三浦領事

芳澤外務大臣

暗第二八號 至急

貴電第一七〇號ニ關シ
萬一ノ場合ニ處セラルル貴官ノ心得ニ關シテハ往電第二七號ノ通りナル處此際警察官ノ増員ハ定員及豫算ノ都合上詮議困難ナルニ付不取敢應急ノ措置トシテ臺灣總督府ヨリ巡查一〇名ヲ差當リ一ヶ月ノ豫定ヲ以テ貴館ニ應援ノ爲出張方別電第一六號ノ通り同府ニ電照シタルニ付本件實行ノ細目ニ涉リテハ貴官ヨリ直接同府當局ト打合せラルル様致シタシ

外務省

7.2

寫

M-0389

寫送先

大臣 電信課長
次官 亞細亞 通商 條約 情報 文化 人事 會計

昭和7 一〇七四九 暗

廈門 本省

五月二日 岩崎 日後發着

亞人

芳澤外務大臣

三浦領事

第二一五號

警部一名引率ノ下ニ總督府應援巡查十名二日到着セリ

支へ轉電セリ

外務省

記録

大臣

電信課長

次官

亞細亞 通商 條約 情報 文化 人事 會計

昭和7 一〇八一六 暗

廈門 本省

五月三日 岩崎 前後發着

亞

芳澤外務大臣

三浦領事

第二一七號

電第二一五號ニ關シ

應援警察官ノ官等ハ警部一、月俸六十六圓巡查部長一、月俸四十七圓巡查九名何レモ五十五圓未滿ナル處一行ハ出發ニ際シ總督府ヨリ旅費其ノ他前借シ來リタル由ニモアリ又從來ハ正服勤務ナリシ關係上身支度充分ニ整ヒ居ラサル向モ有之ニ付旅費ハ經歷書ノ提出ヲ俟テ支給スルコトトシ差當リ今後一ヶ月ノ日當宿泊料ヲ前渡スルコトト致度ク就テハ至急電送相成度シ

寫送先

外務省

M-0389

0405

秘

電信寫

昭和


暗
廈門

七日後發
本省 七月七日後着

亞

内田外務大臣

領事

第三四五號

七月五日基隆林兼商店第二十二全進丸（五十噸）泉州ノ東北東七十
哩ニテ漁業中海賊船ノ爲ニ伴レ行カレ人命危険ニ付救助セラレ度キ
旨七日臺北州知事ヨリ來電アリ、同時ニ本件ニ關シ當港警備中ノ第
二十五驅逐隊司令ヨリ目下驅逐艦竹ヲシテ搜索中ナルカ尙驅逐艦
ヲ出動セシムルニ付通譯トシテ當館警察官二名ノ援助方申出アリ依
テ當館ヨリ陳（鵬）鄧ノ兩巡查ヲ同隊ヘ派遣シタリ
公使。南京。福州。臺灣ヘ轉電セリ

M-0389

0406

